

# 国際協力の現場を語る

JICA(独立行政法人 国際協力機構)は開発途上国の発展を支援するため、実務の経験と知識を持った人達を「JICA海外協力隊」として派遣しています。この人達は海外旅行などでの体験とは違った、海外協力隊ならではの様々な体験をしています。赴任国で体験した、生活、文化、人々との触れ合い、苦労、喜び、伝えたいメッセージなどを熱く語っていただきます。

- ◆日 時 : 毎月第3水曜日 15時00分～16時45分
- ◆タイトル: シニアの挑戦!! 国際協力の現場を語る
- ◆会 場 : JICA横浜 Web会議(Zoom)併用
- ◆主 催 : NPO法人 シニアボランティア経験を活かす会
- ◆協 力 : JICA横浜
- ◆会 費: 無 料(どなたでも自由に参加でき同時にZoomによるWeb会議も実施しますのでこちらへも参加できます)

会員以外の方でWeb会議への参加希望者は、  
1. 氏名 2. メールアドレス 3. 「体験発表会参加希望」を  
明記の上、以下へメールをお送りください。

メール宛先: info@jicasvob.com

Web会議に参加するための招待メールをお送りします。



| 赴任国(講演者)                                  |                                                                                     | 「タイトル」 講演概要                                                                                                                                                                                                                                                  |
|-------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第233回<br>6月18日<br>(水)<br>パナマ<br>(西 小枝)    |   | <b>「パナマでの普及員活動より」</b><br>パナマで村落開発普及員(栄養改善プロジェクトの一員)として過ごし、小国パナマの持つ豊かさと共に、発展に隣り合わせの様々なリスクを感じて環境教育や健康グループの活動を行いました。先進国は良くも悪くも先に進んだ国。異文化に接した時、相手の行動や常識の背景やその経緯に考えを巡らせる大切さ。それらが最も私が学んだことです。情報過多のこのご時世。一番大事なのは「情報を得る」こと? 「勉強する」ことのメリットは? といった内容も共に考える機会を持てたら幸いです。 |
| 第234回<br>7月16日<br>(水)<br>カンボジア<br>(浅水 伸介) |  | <b>「協力隊経験とそれを活かした仕事」</b><br>理数科教師としてカンボジアへの派遣が終了したのち、短期で再び同国へ。地方教育局視学課に配属。当時プロジェクトが実施中の探究型授業、授業研究に関する活動を行った。故伊藤明子氏は、隣州視学課に配属されており、同時期に活動を共にし、多くの交流を持ったので、その時の思い出や現在の翻訳・通訳業務についても述べる。                                                                         |
| 第235回<br>8月20日<br>(水)<br>シリア<br>(鈴木 博見)   |  | <b>「世界を見ずして、日本を語るなかれ!」</b><br>自動車整備の資格を取り、カーディーラーに就職。数年後の1978年に青年海外協力隊員としてシリア内務省に派遣され、自動車修理工場で充実した2年間を送る。帰国後は、ホンダ技研工業に転職し、1991年に3か月間休職して、国連ボランティアとしてイラクとヨルダンで難民支援に従事。これまでの海外体験から日本人は海外を見なければならぬと実感。                                                          |
| 第236回<br>9月17日<br>(水)<br>スリランカ<br>(梶 恵一)  |  | <b>「輝く島から持ち帰ったモノ」</b><br>‘インド洋の真珠’とも称されるスリランカ(輝く島の意)。生活拠点他、フィールドワークで出会った多くの子供たち...どこへ行っても共通していたのは、作り物でない輝く笑顔と瞳でした。この輝きはどこから来るのか? そして日本の子供たちとの違いって? 日々の生活と人との関りを通じて確信に変わったものがあります。帰国の途に就く飛行機が動き始めたときに誓ったんです。それを母国日本で伝えてゆくことこそ、与えられた使命であり、自分の青春の証なのだ...と。      |
| 第237回<br>10月15日<br>(水)<br>ザンビア<br>(鈴木 核)  |  | <b>「私の人生を変えたワールドカフェ」</b><br>ワールドカフェは、参加者が対話を通じてアイデアを共有し、気づきを得ることを目的とした話し合いのスタイルの一つです。これと出会い、私の人生は大きく変わりました。また、派遣先のザンビアでもこれを用いて成果を上げることができました。後半はみなさんにも体験していただきますが、リアル参加がお勧めです。お楽しみに!                                                                         |